



Sun™ Management Center 3.5 バージョン 6 Sun Fire™ エントリーレベル ミッドレンジシステムのための 追補マニュアル

Sun Microsystems, Inc.
www.sun.com

Part No. 819-3989-10
2005 年 8 月, Revision A

コメントの送付: <http://www.sun.com/hwdocs/feedback>

Copyright 2005 Sun Microsystems, Inc., 4150 Network Circle, Santa Clara, California 95054, U.S.A. All rights reserved.

米国 Sun Microsystems, Inc. (以下、米国 Sun Microsystems 社とします) は、本書に記述されている技術に関する知的所有権を有しています。これら知的所有権には、<http://www.sun.com/patents> に掲載されているひとつまたは複数の米国特許、および米国ならびにその他の国におけるひとつまたは複数の特許または出願中の特許が含まれています。

本書およびそれに付属する製品は著作権法により保護されており、その使用、複製、頒布および逆コンパイルを制限するライセンスのもとにおいて頒布されます。サン・マイクロシステムズ株式会社による事前の許可なく、本製品および本書のいかなる部分も、いかなる方法によっても複製することが禁じられます。

本製品のフォント技術を含む第三者のソフトウェアは、著作権法により保護されており、提供者からライセンスを受けているものです。

本製品のの一部は、カリフォルニア大学からライセンスされている Berkeley BSD システムに基づいていることがあります。UNIX は、X/Open Company Limited が独占的にライセンスしている米国ならびに他の国における登録商標です。

本製品は、株式会社モリサワからライセンス供与されたリュウミン L-KL (Ryumin-Light) および中ゴシック BBB (GothicBBB-Medium) のフォント・データを含んでいます。

本製品に含まれる HG 明朝 L と HG ゴシック B は、株式会社リコーがリョービマジクス株式会社からライセンス供与されたタイプフェースマスタをもとに作成されたものです。平成明朝体 W3 は、株式会社リコーが財団法人日本規格協会 文字フォント開発・普及センターからライセンス供与されたタイプフェースマスタをもとに作成されたものです。また、HG 明朝 L と HG ゴシック B の補助漢字部分は、平成明朝体 W3 の補助漢字を使用しています。なお、フォントとして無断複製することは禁止されています。

Sun、Sun Microsystems、Java、docs.sun.com、Sun Management Center、Sun Fire、および Netra は、米国およびその他の国における米国 Sun Microsystems 社の商標もしくは登録商標です。サンのロゴマークおよび Solaris は、米国 Sun Microsystems 社の登録商標です。

すべての SPARC 商標は、米国 SPARC International, Inc. のライセンスを受けて使用している同社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。SPARC 商標が付いた製品は、米国 Sun Microsystems 社が開発したアーキテクチャーに基づくものです。

OPENLOOK、OpenBoot、JLE は、サン・マイクロシステムズ株式会社の登録商標です。

ATOK は、株式会社ジャストシステムの登録商標です。ATOK8 は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、ATOK8 にかかる著作権その他の権利は、すべて株式会社ジャストシステムに帰属します。ATOK Server/ATOK12 は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、ATOK Server/ATOK12 にかかる著作権その他の権利は、株式会社ジャストシステムおよび各権利者に帰属します。

本書で参照されている製品やサービスに関しては、該当する会社または組織に直接お問い合わせください。

OPEN LOOK および Sun™ Graphical User Interface は、米国 Sun Microsystems 社が自社のユーザーおよびライセンス実施権者向けに開発しました。米国 Sun Microsystems 社は、コンピュータ産業用のビジュアルまたはグラフィカル・ユーザーインターフェースの概念の研究開発における米国 Xerox 社の先駆者としての成果を認めるものです。米国 Sun Microsystems 社は米国 Xerox 社から Xerox Graphical User Interface の非独占的ライセンスを取得しており、このライセンスは米国 Sun Microsystems 社のライセンス実施権者にも適用されます。

U.S. Government Rights—Commercial use. Government users are subject to the Sun Microsystems, Inc. standard license agreement and applicable provisions of the FAR and its supplements.

本書は、「現状のまま」をベースとして提供され、商品性、特定目的への適合性または第三者の権利の非侵害の黙示の保証を含みそれに限定されない、明示的であるか黙示的であるかを問わない、なんらの保証も行われぬものとします。

本書には、技術的な誤りまたは誤植の可能性があります。また、本書に記載された情報には、定期的に変更が行われ、かかる変更は本書の最新版に反映されます。さらに、米国サンまたは日本サンは、本書に記載された製品またはプログラムを、予告なく改良または変更することがあります。

本製品が、外国為替および外国貿易管理法 (外為法) に定められる戦略物資等 (貨物または役務) に該当する場合、本製品を輸出または日本国外へ持ち出す際には、サン・マイクロシステムズ株式会社の事前の書面による承諾を得ることのほか、外為法および関連法規に基づく輸出手続き、また場合によっては、米国商務省または米国所轄官庁の許可を得ることが必要です。

原典:	Sun Management Center 3.5 Version 6 Supplement for Sun Fire Entry-Level Midrange Systems Part No: 819-0419-10 Revision A
-----	--



目次

はじめに xi

1. 概要 1

Sun Fire エントリーレベルミッドレンジシステム用のアドオンソフトウェア 1

システムアイコン 2

ハードウェアドメインの識別 3

このマニュアルで使用する操作例について 3

2. ソフトウェアのインストールとセットアップ 7

アドオンソフトウェアの入手 8

アドオンソフトウェアのパッケージ 8

サポートされるシステムと環境 9

動的再構成アドオン 9

アドオンソフトウェアのインストール準備 10

インストール作業の概要 10

Sun Fire V1280 の既存の Netra ソフトウェアの更新 11

▼ Netra システム用の既存の Sun Management Center 3.5 アドオンソフトウェアを更新する 11

Sun Management Center 3.5 Update 1 ソフトウェアへの更新 12

インストールウィザードによる Sun Management Center 3.5 Update 1 の新しいアドオンソフトウェアのインストールとセットアップ 12

▼	ソフトウェアをインストールする	12
	セットアップウィザードによる Sun Fire エントリーレベルミッドレンジシステム用 アドオンソフトウェアのセットアップ	13
▼	ウィザード GUI を使用してアドオンソフトウェアをセットアップする	14
	ウィザードの高度なセットアップオプションの使用	15
3.	ドメインエージェントの使用	17
	構成リーダーモジュール	17
▼	構成リーダーモジュールを使用する	18
	構成リーダーモジュールの読み込み	20
▼	モジュールを読み込む	21
	構成リーダーテーブル	22
	システム属性	23
	システムアラーム	24
	CPU ユニット属性	24
	CPU ユニットアラーム	25
	電源装置属性	26
	電源装置アラーム	26
	DIMM属性	27
	DIMM アラーム	27
	ファン属性	28
	ファンアラーム	28
	入出力デバイス属性	28
	ディスクデバイス属性	29
	テープデバイス属性	29
	テープデバイスアラーム	30
	ネットワークデバイス属性	30
	LOM 属性	31
	LOM イベント属性	31

LOM アラーム属性	31
LOM アラーム	32
障害インジケータ属性	32
障害インジケータアラーム	32
LED 属性	32
温度監視属性	33
温度アラーム	33
電圧センサー属性	34
電圧センサーアラーム	34
FRUID 情報	34
FRU 状態アラーム	35
ドメインの物理表示と論理表示	35
A. CLI による Sun Management Center ソフトウェアのインストールとセットアップ、アンインストール、起動、停止	37
CLI によるソフトウェアのインストールとセットアップ	37
▼ CLI を使用してアドオンソフトウェアをインストールする	38
▼ アドオンソフトウェアをセットアップする	39
CLI によるソフトウェアのアンインストール	41
▼ Sun Management Center ソフトウェア全体をアンインストールする	42
▼ Sun Fire エントリーレベルミッドレンジシステム用アドオンソフトウェアをアンインストールする	43
CLI による Sun Management Center ソフトウェアの起動と停止	45
▼ すべての Sun Management Center コンポーネントを起動する	45
▼ すべての Sun Management Center コンポーネントを停止する	45
用語集	47

目次

図 1-1	ハードウェアドメインの「詳細」ウィンドウ	4
図 1-2	アイコンを開く方法	5
図 3-1	詳細ウィンドウ	18
図 3-2	構成リーダーアイコン	19
図 3-3	構成リーダーモジュール	20
図 3-4	「詳細」ウィンドウの「モジュールマネージャー」タブで構成リーダーを選択	21
図 3-5	システムの正面からの物理表示	36

表目次

表 1-1	Sun Fire エントリーレベルミッドレンジシステムのアイコン	2
表 2-1	パッケージの配備	9
表 3-1	システム 属性	23
表 3-2	CPU ユニット属性	24
表 3-3	電源装置属性	26
表 3-4	DIMM 属性	27
表 3-5	ファン属性	28
表 3-6	入出力デバイス属性	28
表 3-7	ディスクドライブ属性	29
表 3-8	テープデバイス属性	29
表 3-9	ネットワークデバイス属性	30
表 3-10	LOM 属性	31
表 3-11	LOM イベント属性	31
表 3-12	LOM アラーム属性	31
表 3-13	障害インジケータ属性	32
表 3-14	LED 属性	32
表 3-15	温度超過監視属性	33
表 3-16	温度監視属性	33
表 3-17	電圧センサー属性	34
表 3-18	FRUID 情報	34

はじめに

このマニュアルでは、次にあげる Sun Fire エントリーレベルミッドレンジシステムに、Sun Management Center ソフトウェアをインストールして設定する方法と、その使用方法を説明します。

- Sun Fire™ E2900
- Sun Fire V1280

注 – Sun Management Center 3.5 バージョン 6 では、Netra™ 1280 システムはサポートされていません。

このマニュアルは、これらのシステムを監視、管理する目的で Sun Management Center 3.5 ソフトウェアをインストールして使用するシステム管理者を対象に記述されています。

お読みになる前に

このマニュアルは、『Sun Management Center インストールと構成ガイド』および『Sun Management Center ユーザーガイド』の後にお読みください。『Sun Management Center インストールと構成ガイド』では、Sun Management Center ソフトウェアのインストールおよび設定方法、『Sun Management Center ユーザーガイド』では、Sun Management Center の使用方法をそれぞれ詳しく説明しています。

注 – Sun Management Center の製品の最新情報については、Sun Management Center Web サイト (<http://www.sun.com/sunmanagementcenter>) をご覧ください。

マニュアルの構成

第 1 章では、サポートされているプラットフォームに関する Sun Management Center ソフトウェアの概要を説明しています。

第 2 章では、グラフィカルユーザインタフェース (GUI) による Sun Fire エントリーレベルミッドレンジシステムでの Sun Management Center ソフトウェアのインストール、セットアップ、複数ホスト更新、起動、停止の手順を説明しています。『Sun Management Center インストールと構成ガイド』と併せてお読みください。

第 3 章では、ドメインエージェントを使用してシステムを管理、監視する方法について説明しています。

付録 A では、コマンド行インタフェース (CLI) による Sun Management Center ソフトウェアのインストール、セットアップ、起動、停止の手順を説明しています。

用語集には、このマニュアル内、またはグラフィカルインタフェース (GUI) で使用されている略語や頭字語の説明があります。

索引を利用すると、このマニュアルの説明箇所を簡単に見つけることができます。

UNIX コマンド

このマニュアルには、システムの停止、システムの起動、およびデバイスの構成などに使用する基本的な UNIX® コマンドと操作手順に関する説明は含まれていない可能性があります。これらについては、以下を参照してください。

- 使用しているシステムに付属のソフトウェアマニュアル
- 下記にある Solaris™ オペレーティングシステムのマニュアル

<http://docs.sun.com>

シェルプロンプトについて

シェル	プロンプト
UNIX の C シェル	<i>machine_name%</i>
UNIX の Bourne シェルと Korn シェル	\$
スーパーユーザー (シェルの種類を問わない)	#

書体と記号について

書体または記号*	意味	例
AaBbCc123	コマンド名、ファイル名、ディレクトリ名、画面上のコンピュータ出力、コード例。	.login ファイルを編集します。 ls -a を実行します。 % You have mail.
AaBbCc123	ユーザーが入力する文字を、画面上のコンピュータ出力と区別して表します。	% su Password:
<i>AaBbCc123</i>	コマンド行の変数部分。実際の名前や値と置き換えてください。	rm <i>filename</i> と入力します。
『 』	参照する書名を示します。	『Solaris ユーザーマニュアル』
「 」	参照する章、節、または、強調する語を示します。	第 6 章「データの管理」を参照。 この操作ができるのは「スーパーユーザー」だけです。
\	枠で囲まれたコード例で、テキストがページ行幅を超える場合に、継続を示します。	% grep `^#define \ XV_VERSION_STRING`

* 使用しているブラウザにより、これらの設定と異なって表示される場合があります。

関連マニュアル

常に、システムにインストールされているソフトウェアのバージョンの最新版のマニュアルを使用してください。

用途分類	タイトル
Sun Fire エントリーレベルミッドレンジシステム用アドオンソフトウェアの問題点と制限事項、バグ	Sun Management Center 3.5 バージョン 6 Sun Fire エントリーレベルミッドレンジシステムご使用にあたって (819-4015)
主要ソフトウェアの問題点と制限事項、バグ	ご使用のソフトウェア用の Sun Management Center の『ご使用にあたって』
Sun Management Center 3.5 Update 1 の新しい機能	Sun Management Center 3.5 Update 1 Supplement
Sun Management Center 主要ソフトウェアのインストールと構成	Sun Management Center インストールと構成ガイド
Sun Management Center 主要ソフトウェアの使用法	Sun Management Center ユーザーガイド
Sun Fire エントリーレベルミッドレンジシステムの変更点と制限事項、バグ	Sun Fire Entry-Level Midrange Systems Firmware Release Notes
Sun Fire E2900/V1280 システムプラットフォームの管理	Sun Fire Entry-Level Midrange System Administration Guide
Sun Fire E2900/V1280 システムコマンドリファレンス	Sun Fire Entry-Level Midrange System Controller Command Reference Manual

マニュアル、サポート、およびトレーニング

Sun のサービス	URL	説明
マニュアル	http://jp.sun.com/documentation/	PDF と HTML マニュアルをダウンロードする、印刷マニュアルを注文する。
サポート	http://jp.sun.com/support	テクニカルサポートを受ける、パッチをダウンロードする。
トレーニング	http://jp.sun.com/training/	Sun のコースについて情報を入手する

Sun 以外の Web サイト

このマニュアルで紹介する Sun 以外の Web サイトが使用可能かどうかについては、Sun は責任を負いません。このようなサイトやリソース上、またはこれらを経由して利用できるコンテンツ、広告、製品、またはその他の資料についても、Sun は保証しておらず、法的責任を負いません。また、このようなサイトやリソース上、またはこれらを経由して利用できるコンテンツ、商品、サービスの使用や、それらへの依存に関連して発生した実際の損害や損失、またはその申し立てについても、Sun は一切の責任を負いません。

コメントをお寄せください

マニュアルの品質改善のため、お客様からのご意見およびご要望をお待ちしております。コメントは下記よりお送りください。

<http://www.sun.com/hwdocs/feedback>

ご意見をお寄せいただく際には、下記のタイトルと Part No. を記載してください。

Sun Management Center 3.5 バージョン 6 Sun Fire エントリーレベルミッドレンジシステムのための追補マニュアル, Part No. 819-3989-10

第1章

概要

この章では、サポートされるプラットフォームに関する Sun Management Center 3.5 ソフトウェアの概要を説明します。

この章には、次の節があります。

- 1 ページの「Sun Fire エントリレベルミッドレンジシステム用のアドオンソフトウェア」
- 2 ページの「システムアイコン」
- 3 ページの「ハードウェアドメインの識別」
- 3 ページの「このマニュアルで使用する操作例について」

Sun Fire エントリレベルミッドレンジシステム用のアドオンソフトウェア

Sun Management Center ソフトウェアは、ワークステーションまたはサーバーなどのシステムから Sun のシステムを監視することを可能にします。Sun Management Center ソフトウェアを使用すると、ネットワークを介してさまざまな遠隔操作やアプリケーションの管理ができます。Sun Fire エントリレベルミッドレンジシステム用アドオンソフトウェアは、Sun Fire エントリレベルミッドレンジシステムで Sun Management Center ソフトウェアが機能するようにします。今回のリリースでは、次のモデルがサポートされます。

- Sun Fire E2900
- Sun Fire V1280

注 – Sun Management Center 3.5 バージョン 6 の今回のリリースでは、Netra™ 1280 はサポートされていません。




Solaris オペレーティングシステムを表示できるのは、Sun Fire エントリーレベルミッドレンジシステムドメインで実行される Sun Management Center のみです (Sun Fire ミッドレンジシステム用 Sun Management Center でサポートされるプラットフォーム管理は、エントリーレベルミッドレンジシステムでサポートされていません)。

アドオンソフトウェアをホストマシンにインストールすると、そのホストマシン上で Sun Management Center ソフトウェアを実行することによって、Sun Fire エントリーレベルミッドレンジシステムのシステムコントローラにアクセスできます。

システムアイコン

表 1-1 は、Sun Fire エントリーレベルミッドレンジシステムを表す一般的なアイコンを示しています。アラーム状態となった場合は、ここに示す重大アイコンのように、これらのアイコンの右下に小さいアラームアイコンが表示されます。

表 1-1 Sun Fire エントリーレベルミッドレンジシステムのアイコン

アイコン	説明
	Sun Fire E2900 のアイコン
	Sun Fire V1280 のアイコン
	Sun Fire V1280 のアイコンと重大アラーム

ハードウェアドメインの識別

デフォルトでは、「モジュールブラウザ」タブにハードウェアドメインの「詳細」ウィンドウが表示されます。図 1-1 に、一般的なドメインの「詳細」ウィンドウを示します。このウィンドウには、ハードウェア、オペレーティングシステム、ローカルアプリケーション、およびリモートシステムドメインを示すアイコンと、「情報」、「モジュールブラウザ」、「アラーム」、「モジュールマネージャー」、「アプリケーション」、「ハードウェア」という 6 つのタブがあります。図 1-1 の例では、ハードウェアドメインのアイコンが重大アラーム付きで表示されています。

詳細については、第 3 章を参照してください。

このマニュアルで使用する操作例について

このマニュアルで示す手順や操作の多くは、複数の方法で行うことができます。簡潔にするため、もっとも簡単または迅速な操作方法を 1 つだけ紹介します。

たとえば、メインコンソールウィンドウから Sun Fire エントリレベルミッドレンジシステムの詳細表示を開く方法は 6 つあります。

- 階層表示 (ウィンドウ内の左側の表示) 内の Sun Fire エントリレベルミッドレンジのアイコンをクリックして、最上部のバーの「ツール」メニューをクリックし、「詳細」を選択する
- トポロジ表示 (ウィンドウ内の右側の表示) で上記と同じ操作を行う
- 階層表示で Sun Fire エントリレベルミッドレンジのアイコンをダブルクリックする
- トポロジ表示で Sun Fire エントリレベルミッドレンジのアイコンをダブルクリックする
- 階層表示でアイコンを右クリックし、ポップアップメニューの「詳細」を選択する。
- トポロジ表示で同じ操作をする。

同様に、アイコンを開く (または閉じる) 方法も複数あります。図 1-2 で示すように、以下の方法でアイコンを開くことができます。

- 「すべて開く」ボタンをクリックする (ウィンドウによっては、このボタンがないこともあります)
- アイコンの横の開く記号をクリックする
- 階層またはトポロジ表示内のアイコンをダブルクリックする

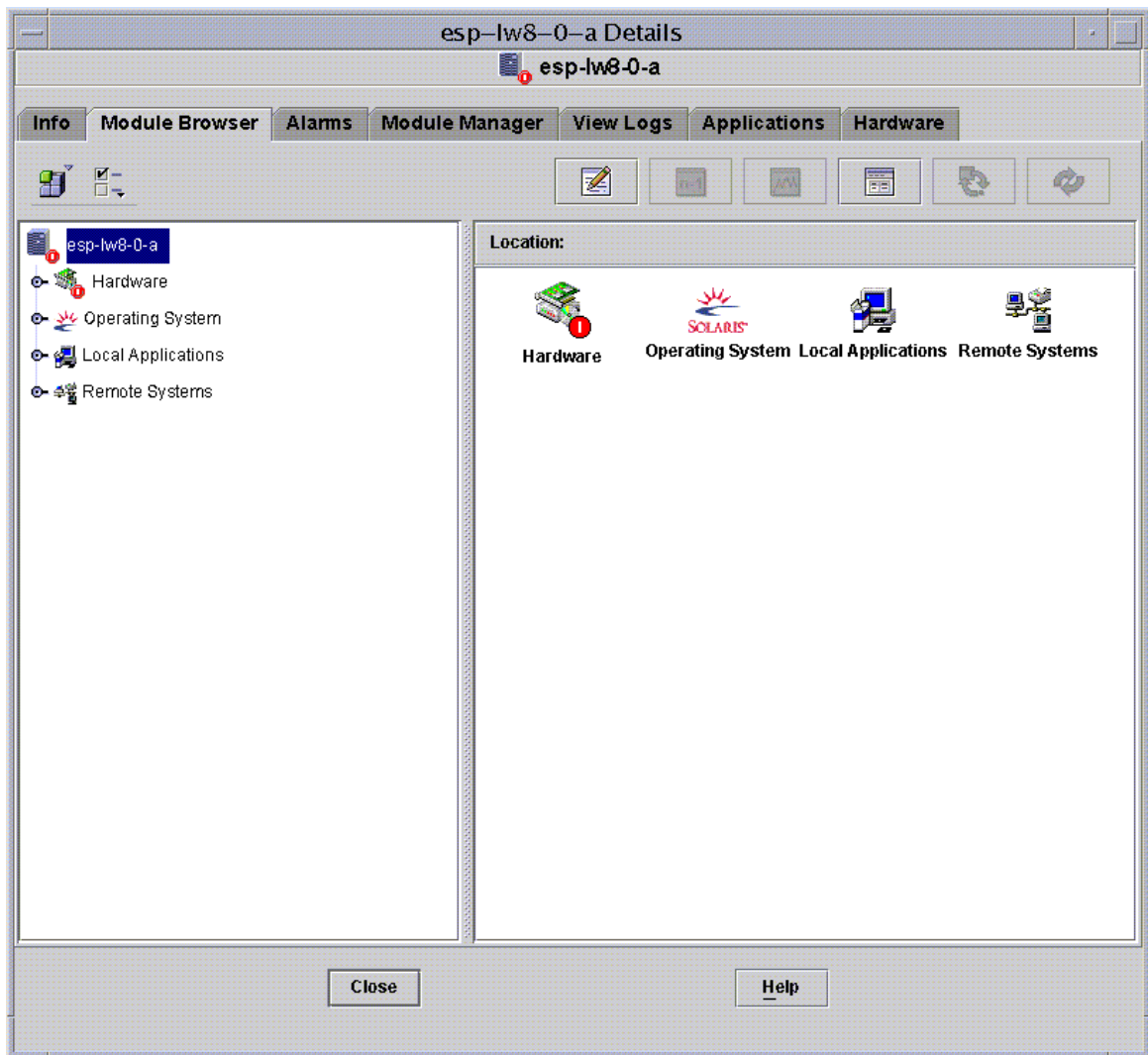


図 1-1 ハードウェアドメインの「詳細」ウィンドウ

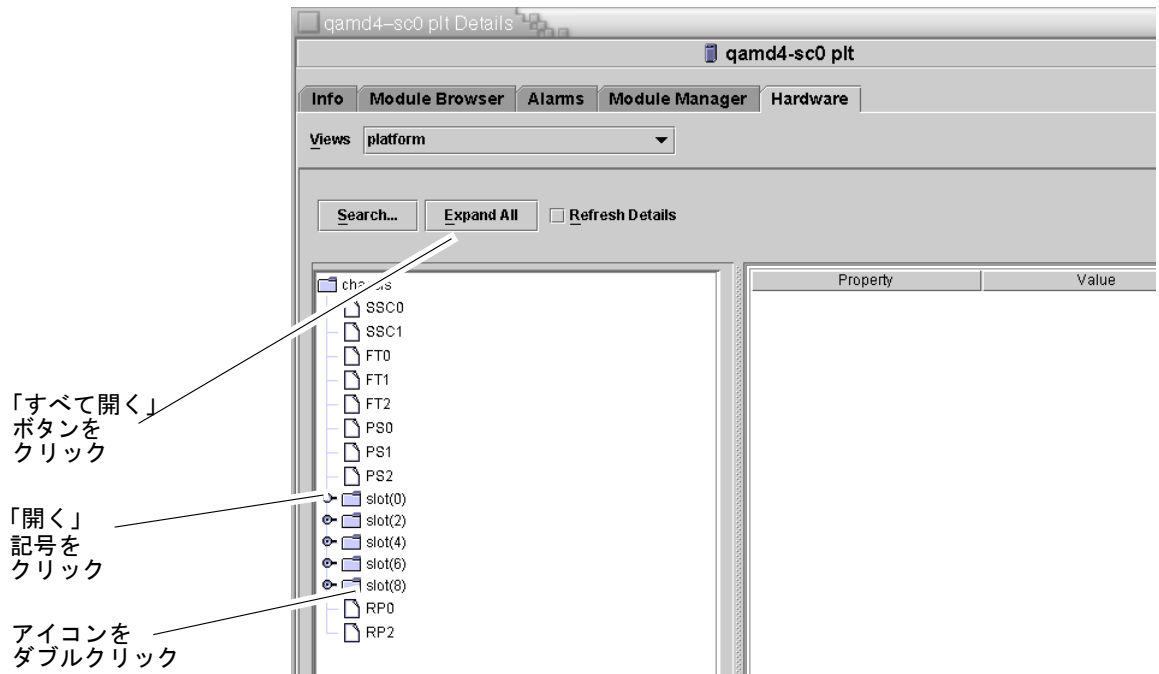


図 1-2 アイコンを開く方法

第2章

ソフトウェアのインストールとセットアップ

この章では、Sun Management Center のウィザードを使用して、Sun Fire エントリーレベルミッドレンジシステム用アドオンソフトウェアのインストールやセットアップ、アンインストール、起動、停止を行う手順を説明します。ベースの Sun Management Center ソフトウェアのインストールとセットアップ、アンインストール、起動および停止についての詳細は、『Sun Management Center インストールと構成ガイド』を参照してください。

この章には、次の節があります。

- 8 ページの「アドオンソフトウェアの入手」
- 8 ページの「アドオンソフトウェアのパッケージ」
- 9 ページの「サポートされるシステムと環境」
- 9 ページの「動的再構成アドオン」
- 10 ページの「アドオンソフトウェアのインストール準備」
- 11 ページの「Sun Fire V1280 の既存の Netra ソフトウェアの更新」
- 12 ページの「Sun Management Center 3.5 Update 1 ソフトウェアへの更新」
- 12 ページの「インストールウィザードによる Sun Management Center 3.5 Update 1 の新しいアドオンソフトウェアのインストールとセットアップ」
- 13 ページの「セットアップウィザードによる Sun Fire エントリーレベルミッドレンジシステム用アドオンソフトウェアのセットアップ」
- 15 ページの「ウィザードの高度なセットアップオプションの使用」



注意 – Sun Management Center ソフトウェアに付属しているインストールおよびセットアップスクリプトを使用してください。パッケージを手動で追加したり、構成ファイルを手動で変更したりしないでください。

Sun Management Center のインストールスクリプト、セットアップスクリプト、ウィザードパネルによって表示されるメッセージの内容および順番が、この章で示す例と異なることがあります。この章で示す例は、実際に表示されるメッセージのおおよその内容と順番を示すためのものです。実際のインストールスクリプトとセットアップスクリプトは、インストールする追加コンポーネントやその他の選択オプションによって異なります。

CLI を使用して機能を実行するにあたっては、付録 A を参照してください。

アドオンソフトウェアの入手

Sun Management Center 3.5 バージョン 6 アドオンソフトウェアの入手方法については、『Sun Management Center 3.5 バージョン 6 Sun Fire エントリレベルミッドレンジシステムご使用にあたって』を参照してください。

アドオンソフトウェアのパッケージ

Sun Fire エントリレベルミッドレンジシステム用の Sun Management Center アドオンソフトウェアは、Sun Management Center のアーキテクチャ階層に対応しています。これらのパッケージの概要を、次に示します。

- SUNWes1w8s - サーバー固有のパッケージ

サポートする Sun Fire エントリレベルミッドレンジシステムの監視に Sun Management Center サーバーが必要とするライブラリおよびその他のファイルを提供します。このソフトウェアはすべての Sun Management Center サーバーシステムに、ベース Sun Management Center サーバーソフトウェアに追加してインストールする必要があります。

- SUNWes1w8a - エージェント固有のパッケージ

サポートする Sun Fire エントリレベルミッドレンジシステムの監視に Sun Management Center エージェントが必要とするライブラリおよびその他のファイルを提供します。このソフトウェアは、Sun Management Center で監視されるすべての Sun Fire エントリレベルミッドレンジシステムに、ベース Sun Management Center エージェントソフトウェアに追加してインストールする必要があります。

注 – Sun Fire エントリーレベルミッドレンジシステムドメインは、Sun Management Center サーバーとして機能できます。その場合は、エージェントパッケージ SUNWes1w8a を Sun Management Center サーバーホストにインストールします。

- SUNWes1w8c – エージェントとサーバーに共通のインストールパッケージ
グラフィカルユーザインタフェース (GUI) でのセットアップ、エージェントアップデート、およびアドオンのインストールと削除をサポートするための、スクリプトと Java™ クラスファイルを提供します。

表 2-1 パッケージの配備

ホスト	パッケージ
サーバー	SUNWes1w8s、SUNWes1w8c
エージェント	SUNWes1w8a、SUNWes1w8c

サポートされるシステムと環境

このリリースでサポートされる最低限の Sun Fire エントリーレベルミッドレンジシステムのファームウェアおよびオペレーティングシステムについては、『Sun Management Center 3.5 バージョン 6 Sun Fire エントリーレベルミッドレンジシステムご使用にあたって』に説明があります。このマニュアルには、このリリースに推奨されるパッチについての説明もあります。

動的再構成アドオン

Sun Management Center 製品に含まれる動的再構成 (DR) アドオンは、Sun Fire エントリーレベルミッドレンジシステムで動作しません。そのため、このアドオンでサポートされる Sun Fire エージェントに DR ソフトウェアを読み込まないでください。

アドオンソフトウェアのインストール準備

アドオンソフトウェアのインストールを始める前に、ネットワーク上のどのシステムがサーバーおよびコンソールとして機能し、どの Sun Fire エントリーレベルミッドレンジシステムがサーバーおよびコンソールから監視されるかを調べる必要があります。

Sun Management Center のソフトウェアのインストール方法については、『Sun Management Center ソフトウェアユーザーガイド』および『Sun Management Center ソフトウェアご使用にあたって』を参照するか、次の URL の Sun Management Center Web サイトの説明をお読みください。

<http://www.sun.com/sunmanagementcenter>

インストール作業の概要

次の 4 つのステップが、この章で説明するインストール作業の概要です。

1. Netra システム用の Sun Management Center アドオンソフトウェアを使用して Sun Fire V1280 システムを管理している場合は、既存のエージェントソフトウェアを Sun Fire V1280 システムから削除する必要があります。11 ページの「Sun Fire V1280 の既存の Netra ソフトウェアの更新」を参照してください。
2. Sun Management Center 3.5 ベースソフトウェアの最新のアップデート、および必要なその他のソフトウェアがインストールされていることを確認します。12 ページの「Sun Management Center 3.5 Update 1 ソフトウェアへの更新」を参照してください。
3. Sun Fire エントリーレベルミッドレンジシステム用の Sun Management Center 3.5 バージョン 6 をインストールします。12 ページの「インストールウィザードによる Sun Management Center 3.5 Update 1 の新しいアドオンソフトウェアのインストールとセットアップ」を参照してください。
4. 新しくインストールしたすべてのベースソフトウェア、およびアドオンソフトウェアをセットアップします。13 ページの「セットアップウィザードによる Sun Fire エントリーレベルミッドレンジシステム用アドオンソフトウェアのセットアップ」を参照してください。
5. ベースソフトウェアとアドオンソフトウェアを起動します。

Sun Fire V1280 の既存の Netra ソフトウェアの更新

Netra システム用の Sun Management Center アドオンソフトウェアを使用して Sun Fire V1280 システムを管理している場合は、既存のエージェントソフトウェアを Sun Fire V1280 システムから削除してから、代わりに Sun Management Center 3.5 バージョン 6 アドオンソフトウェアをインストールおよびセットアップする必要があります。使用している他のプラットフォームをサポートするために必要な場合は、Netra システム用のサーバー固有のアドオンソフトウェアを Sun Management Center サーバーから削除する必要はありません。

▼ Netra システム用の既存の Sun Management Center 3.5 アドオンソフトウェアを更新する

1. 既存の Netra アドオンソフトウェアを Sun Fire V1280 エージェントから削除します。

CLI と GUI のどちらを使用するかに応じて、それぞれ次の付録または節を参照してください。

 - CLI – CLI コマンドの `es-uninst` を使って、Netra システム用の Sun Management Center 3.5 アドオンソフトウェアをアンインストールする場合は、付録 A を参照してください。
 - GUI – Sun Management Center 3.5 のアンインストールウィザードの `es-guiuninst` を使って、Netra システム用の Sun Management Center 3.5 アドオンソフトウェアをアンインストールする場合は、『Sun Management Center インストールと構成ガイド』の付録 A の「Sun Management Center 3.5 のアンインストール」を参照してください。
2. サーバーおよびドメインに Sun Fire エントリーレベルミッドレンジシステム用の新しいアドオンソフトウェアをインストールして、セットアップします。

CLI と GUI のどちらを使用するかに応じて、それぞれ次の付録または節を参照してください。

 - CLI – CLI を使用してインストールおよび設定するには、付録 A を参照してください。
 - GUI – ウィザードを使用してインストールおよび設定するには、12 ページの「インストールウィザードによる Sun Management Center 3.5 Update 1 の新しいアドオンソフトウェアのインストールとセットアップ」を参照してください。

注 – SunFire エントリーレベルミッドレンジシステムアドオンをインストールした後での、Netra アドオンソフトウェアのインストールはサポートしていません。

Sun Management Center 3.5 Update 1 ソフトウェアへの更新

Sun Management Center 3.5 ソフトウェアまたは 3.5 Update 1 以前の主要ソフトウェアからのアップグレードについては、『Sun Management Center 3.5 Update 1 Supplement』を参照してください。使用しているシステムのソフトウェア要件については、『Sun Management Center 3.5 バージョン 6 Sun Fire エントリーレベルミッドレンジシステムご使用にあたって』を、使用しているコアソフトウェアのバージョンについては、最新バージョンの『Sun Management Center ご使用にあたって』を参照してください。

インストールウィザードによる Sun Management Center 3.5 Update 1 の新 しいアドオンソフトウェアのインストー ルとセットアップ

この節では、インストールウィザードを使用した、最新バージョンの Sun Management Center 3.5 ベースソフトウェアと Sun Fire エントリーレベルミッドレンジシステム用アドオンソフトウェアのインストールの概略を説明します。すべてのソフトウェアのインストール方法の詳細は、『Sun Management Center インストールと構成ガイド』の第 6 章「Sun Management Center のインストールと設定」を参照してください。コマンド行インタフェース (CLI) を使用する場合は、付録 A を参照してください。

▼ ソフトウェアをインストールする

コンソール、サーバー、エージェントの各レイヤは、別々にインストールすることも、組み合わせてインストールすることもできます。

1. ホストマシン上でスーパーユーザとしてログインします。
2. `path/sbin` ディレクトリに移動します。`path` は、Sun Management Center 3.5 CD または CD のディスクコピーがある場所です。
3. `es-guiinst` スクリプトを使用して、Sun Management Center 3.5 のベースソフトウェアをインストールします。

注 – Sun Management Center 3.5 ベースソフトウェアのセットアップ中に `setup-responses-file` を使用して、現在のマシンの設定の複製を他のマシン上に作成する場合は、必ず「セットアップ応答データの保存」をクリックします。これで、自分の行ったすべての応答が、`/var/opt/SUNWsymon/install/setup-responses-file` に保存されます。詳細は、『Sun Management Center インストールと構成ガイド』の「Solaris プラットフォーム上のベース製品とアドオンの設定」を参照してください。

4. 手順 3 でベースソフトウェアをインストールしたディレクトリに移動します (`installed_directory/SUNWsymon/sbin`)。
5. バージョン 6 の Sun Fire エントリーレベルミッドレンジシステム用アドオンソフトウェアがあるパスを指定して、`es-guiinst` スクリプトを再実行します。`disk1` のイメージ (`addon_path/disk1/image`) を使用してください。
インストール可能なアドオン製品の一覧が表示されます。
6. Sun Fire エントリーレベルミッドレンジシステムのアドオンソフトウェアを選択して、「次へ」をクリックします。

セットアップウィザードが起動されます。

セットアップウィザードによる Sun Fire エントリーレベルミッドレンジシステム用アドオンソフトウェアのセットアップ

この節では、Sun Management Center セットアップウィザードを使用した、Sun Fire エントリーレベルミッドレンジシステムのセットアップ方法について説明します。ソフトウェア全体の設定作業の詳細は、『Sun Management Center インストールと構成ガイド』の第 6 章「Sun Management Center のインストールと設定」を参照してください。

注 – パネルの下部にある「戻る」ボタンが有効な場合 (ボタンがグレー表示されていない場合)、ボタンをクリックして直前の操作に戻ることができます。「戻る」ボタンがグレー表示されている場合、ボタンは無効で、直前の操作に戻ることはできません。

▼ ウィザード GUI を使用してアドオンソフトウェアをセットアップする

Sun Management Center サーバーと、アドオンソフトウェアを実行する Sun Fire エントリーレベルミッドレンジシステムの両方でアドオンソフトウェアをセットアップします。

1. アドオンソフトウェアがインストールされているシステム上で `es-guisetup` と入力して、Sun Management Center のセットアップウィザードを起動します。

Sun Management Center のベースソフトウェアのセットアップが完了すると、ウィザードによって次のメッセージが表示されます。

```
Click Next to set up the following products:  
Sun Fire Entry-Level Midrange Systems
```

2. 「次へ」をクリックして、セットアップ手順を開始します。

「Sun Fire エントリーレベルミッドレンジシステムの設定」パネルに、次のメッセージが表示されます。

```
Updating configuration files...  
  
Status:  
  
Updating configuration files...  
Update of configuration files complete.
```

3. 「次へ」をクリックして、次に進みます。

「Sun Fire エントリーレベルミッドレンジシステムの設定」パネルに、次のメッセージが表示されます。

```
Sun Fire Entry-Level Midrange Systems Domain Agent setup is  
complete.
```

ウィザードの高度なセットアップオプションの使用

Sun Management Center がインストールされると、Sun Management Center のセットアップウィザードによって、高度なオプションが設定できるようになります。

注 - 現時点では、「セットアップ構成の削除」を使用せず、「すべてを再構成」を使用してください。

- すべてを再構成 - すべてのセットアップ情報を削除して、ただちにセットアップウィザードを実行します。
- アドオンの構成 - アドオン製品のセットアップだけを行います。
- *Sun Management Center* データベースの再作成 (サーバーのみ) - データベースを再作成します。すべてのデータのクリアか、データ保存および再作成したデータベース内での使用のいずれかを選択できます。
- セットアップ構成の削除 - インストールした **Sun Management Center** をインストール後のセットアップ前の状態に戻します。すべてのセットアップ情報およびデータベース情報が削除されます。セットアップウィザードを再実行する前に他の作業を行いたい場合を選択します。

これらのオプションの詳細は、『**Sun Management Center** インストールと構成ガイド』を参照してください。

第3章

ドメインエージェントの使用

この章では、Sun Fire エントリーレベルミッドレンジシステムのドメインエージェントの使用方法について説明します。

エージェントの起動と停止、およびノードの作成方法については、『Sun Management Center ユーザーガイド』を参照してください。

この章では、次のトピックを取り上げています。

- 17 ページの「構成リーダーモジュール」
- 22 ページの「構成リーダーテーブル」
- 35 ページの「ドメインの物理表示と論理表示」

構成リーダーモジュール

構成リーダーモジュールの1つであるエントリーレベルミッドレンジ構成リーダーは、インストール中に自動的に読み込まれます。この構成リーダーモジュールを使用して、ホストの物理表示や論理表示を行うことができます。

また、構成リーダーモジュールはハードウェアを監視し、問題が発生すると警告を發します。たとえば、構成リーダーモジュールは DIMM モジュールのエラーの有無を調べます。

「構成リーダー」アイコンは、「詳細」ウィンドウの「ハードウェア」アイコン内にあります (図 3-1 参照)。

▼ 構成リーダーモジュールを使用する

1. Sun Management Center のコンソールで、Sun Fire エントリーレベルミッドレンジシステムのアイコンをダブルクリックします。

「詳細」 ウィンドウが表示されます (図 3-1)。

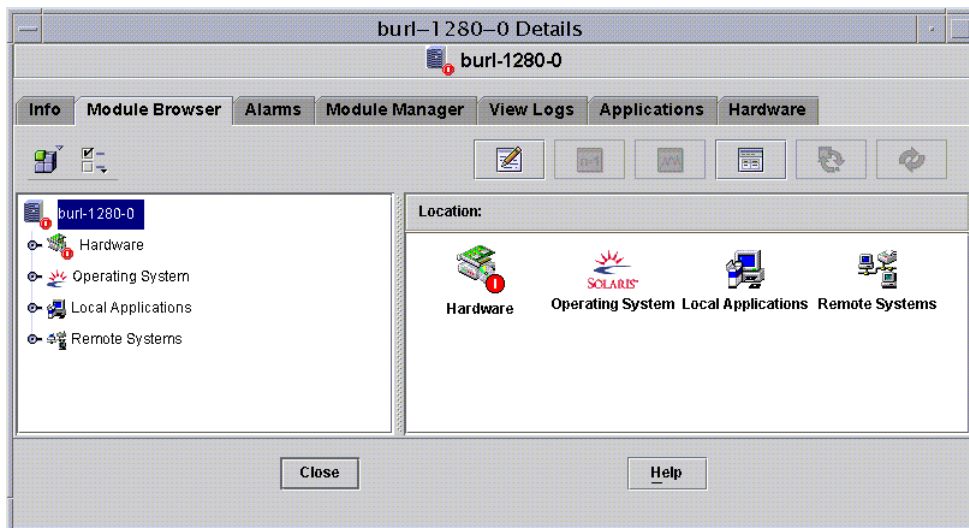


図 3-1 詳細ウィンドウ

2. 「詳細」ウィンドウの左のフレームで、「ハードウェア」アイコンをダブルクリックします。

「エントリレベルミッドレンジ構成リーダー」アイコンが表示されます (図 3-2)。アイコンが表示されない場合は、エントリレベルミッドレンジ構成リーダーモジュールが読み込まれていません。モジュールの読み込みの詳細は、20 ページの「構成リーダーモジュールの読み込み」を参照してください。

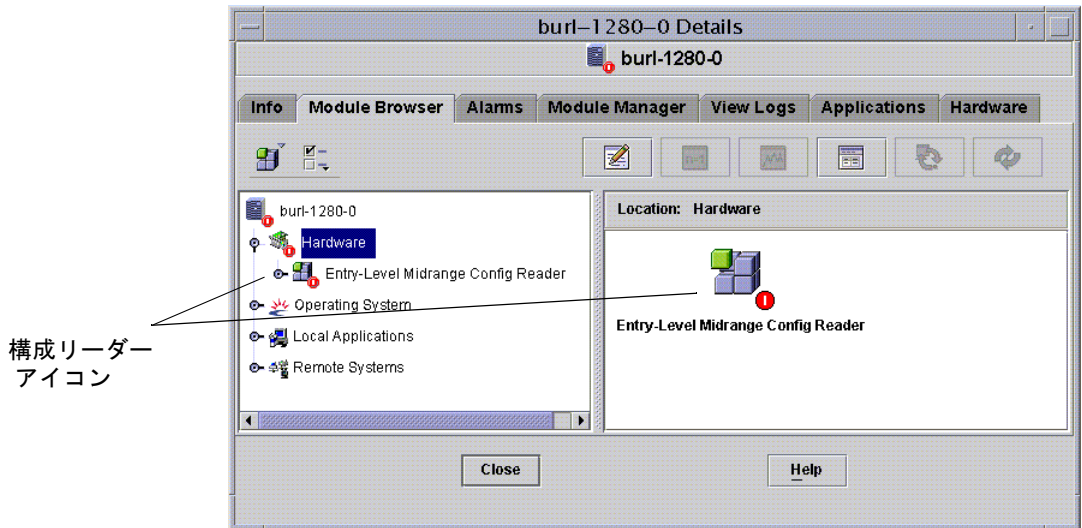


図 3-2 構成リーダーアイコン

3. 「エントリレベルミッドレンジ構成リーダー」アイコンをダブルクリックします。
システム内のすべてのデバイスが表示されます (図 3-3)。
4. デバイスアイコンをダブルクリックして、そのデバイスの属性と値を表示します。
提供される属性と値の表示については、22 ページの「構成リーダーテーブル」を参照してください。

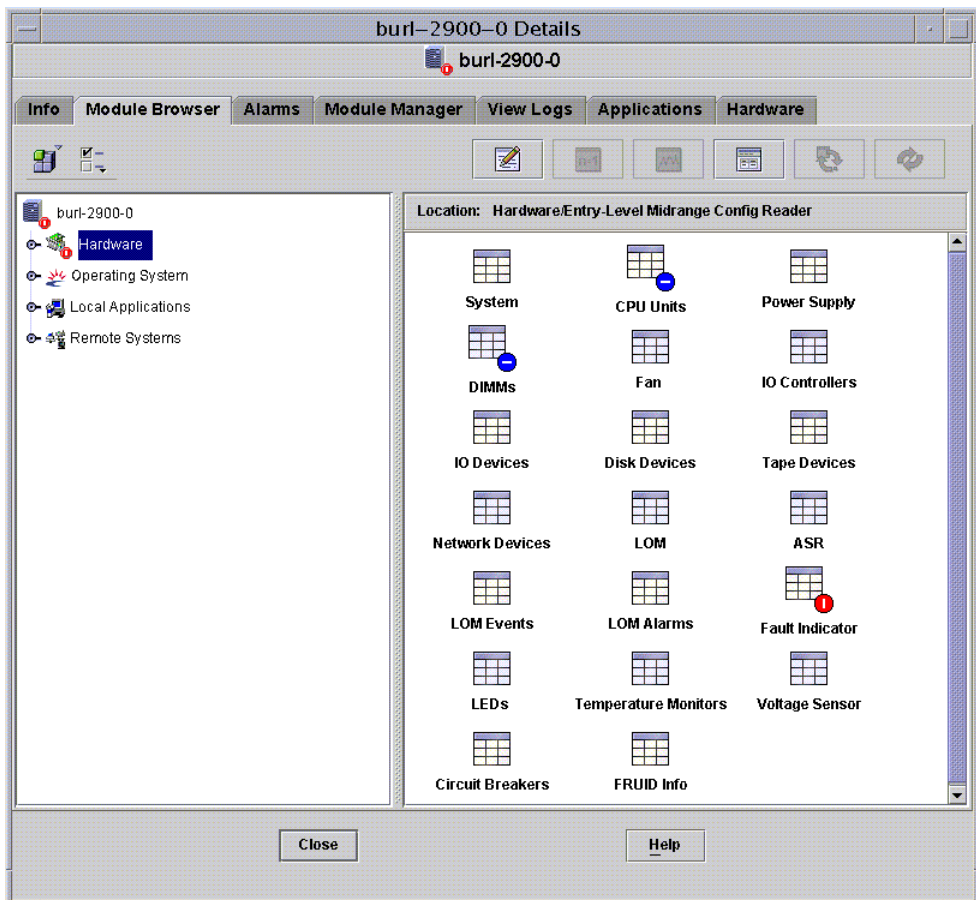


図 3-3 構成リーダーモジュール

構成リーダーモジュールの読み込み

Sun Fire エントリーレベルミッドレンジシステムの「詳細」ウィンドウの「モジュールブラウザ」タブに、エントリーレベルミッドレンジ構成リーダーモジュールのアイコン(図 3-2)が表示されない場合は、対応するモジュールが読み込まれていません。その場合は、以下に示す手順で、モジュールを手動で読み込みます。

▼ モジュールを読み込む

1. Sun Management Center のコンソールで、Sun Fire エントリレベルミッドレンジシステムのアイコンをダブルクリックします。
「詳細」ウィンドウが表示されます (図 3-1)。
2. 「詳細」ウィンドウの「モジュールマネージャー」タブをクリックします。
モジュールマネージャーのデータが表示されます (図 3-4)。

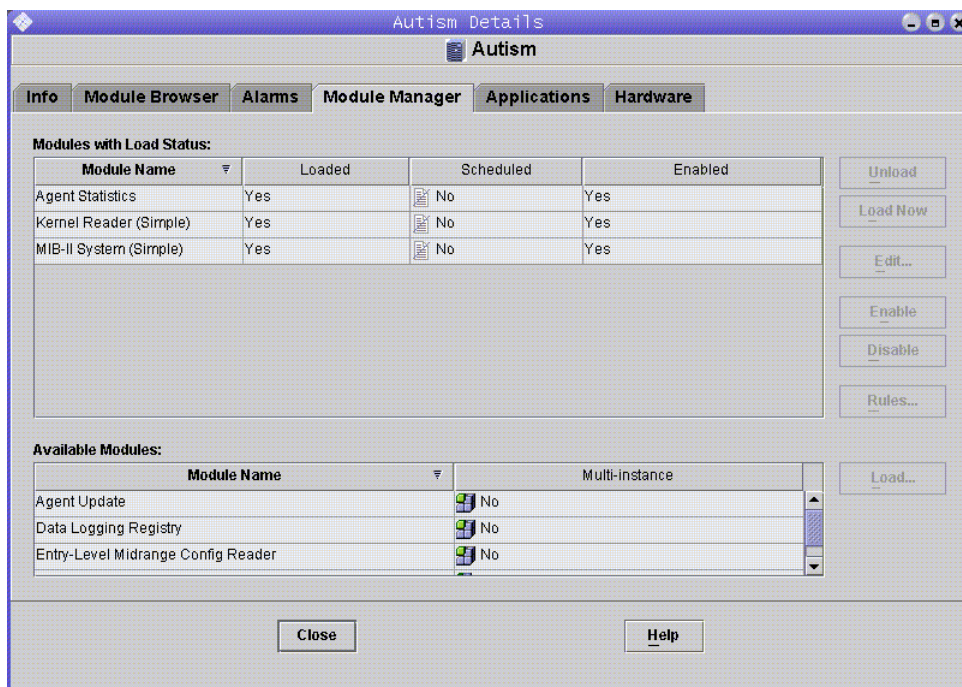


図 3-4 「詳細」ウィンドウの「モジュールマネージャー」タブで構成リーダーを選択

3. 「使用可能なモジュール」リストから「エントリレベルミッドレンジ構成リーダー」を選択し、「読み込み」をクリックします。
「モジュールローダー」ポップアップウィンドウが表示されます。
4. 「了解」ボタンをクリックします。
 - 適切なアクセス権があると、ポップアップウィンドウが閉じ、選択したモジュールが「モジュールの読み込み状態」一覧に移動します。

- 適切なアクセス権がない場合は、ポップアップウィンドウにエラーメッセージが表示されます。アクセス権の詳細は、『Sun Management Center ユーザーガイド』を参照してください。

構成リーダーテーブル

この節では、構成リーダーモジュールの次のデータ属性テーブルをまとめています。

- 23 ページの「システム属性」
- 24 ページの「CPU ユニット属性」
- 27 ページの「DIMM属性」
- 26 ページの「電源装置属性」
- 28 ページの「ファン属性」
- 28 ページの「入出力デバイス属性」
- 29 ページの「ディスクデバイス属性」
- 29 ページの「テープデバイス属性」
- 30 ページの「ネットワークデバイス属性」
- 31 ページの「LOM 属性」
- 31 ページの「LOM イベント属性」
- 31 ページの「LOM アラーム属性」
- 32 ページの「障害インジケータ属性」
- 32 ページの「LED 属性」
- 33 ページの「温度監視属性」
- 34 ページの「電圧センサー属性」
- 34 ページの「FRUID 情報」

この節の表は、ドメインの構成リーダーの各データ属性テーブルに含まれるデータ属性、および関連するアラームをまとめています。



注意 – テーブルの属性値は、5 分間隔で更新されます。アラームが発生するのは属性値が更新されたときのみであるため、アラームには最大 5 分間の遅延があります。この遅延は、温度を監視する場合に特に重要です。

構成リーダーのデータ属性を選択すると、「詳細」ウィンドウの「モジュールブラウザ」タブにデータ属性テーブルが表示されます。『Sun Management Center ユーザーガイド』の第 7 章「管理オブジェクト情報の表示」を参照してください。

システム属性

表 3-1 は、ドメインを含む Sun Fire エントリレベルミッドレンジシステムの属性を簡単にまとめています。

表 3-1 システム 属性

属性	説明
名前	固定値:system.
オペレーティングシステム	SunOS 5.9 などの、マシンで実行されているオペレーティングシステムを示す。
オペレーティングシステムのバージョン	オペレーティングシステムのバージョンを示す。
システムクロック周波数	メガヘルツ (MHz) 単位でクロック周波数を示す。
アーキテクチャー	固定値「sparc」でマシンのアーキテクチャーを示す。
システムのホスト名	ホストのネットワーク名を示す。
マシン名	sun4u などの、マシンの種類を示す。
システムプラットフォーム	Sun-Fire-V1280 などの、システムのハードウェアプラットフォームを示す。
シリアル番号	Sun Fire エントリレベルミッドレンジシステムではマシンで読み取り可能なシリアル番号が示されないため、このフィールドは空(--)になる。
タイムスタンプ	システム情報が抽出された時刻のタイムスタンプ値を示す。
Raw タイムスタンプ	システム情報が抽出された時刻の Raw タイムスタンプ値を示す。
総ディスク数	外部接続されたディスク、およびディスク同等のデバイスを含めて、システムに存在するディスクの合計数を示す。
総メモリ容量	システム全体の総メモリ容量をメガバイト (MB) 単位で示す。
総プロセッサ数	システム全体の総 CPU 数を示す。
総テープデバイス数	外部テープデバイスを含めて、システム全体の総テープデバイス数を示す。
モジュール状態	すべてのエラーを含めて、構成リーダーモジュールの状態を示す。例:OK。

システムアラーム

モジュール状態の値が「OK」以外の場合、重大アラームが発生します。(規則 rcr4u228)

CPU ユニット属性

表 3-2 は、Sun Fire エントリーレベルミッドレンジシステムドメインの CPU の属性を簡単にまとめています。

表 3-2 CPU ユニット属性

属性	説明
名前	SB0/P0 などの形式で、このユニットのシステム名およびスロット番号を示す。
ボード番号	Sun Fire エントリーレベルミッドレンジシステムでは、このフィールドは空 (--) になる。
クロック周波数	メガヘルツ (MHz) 単位でクロック周波数を示す
CPU タイプ	sparcv9 などの、プロセッサの種類を示す。
D キャッシュサイズ	データキャッシュ (D キャッシュ) のサイズをキロバイト (KB) 単位で示す
E キャッシュサイズ	外部キャッシュ (E キャッシュ) のサイズをキロバイト (KB) 単位で示す
FRU	現場交換可能ユニットであるかどうかを示す。値は常に「no」になる。
I キャッシュサイズ	命令キャッシュ (I キャッシュ) のサイズをキロバイト (KB) 単位で示す。
モデル	SUNW,UltraSPARCIII+ などの、プロセッサのモデルを示す。

表 3-2 CPU ユニット属性 (続き)

属性	説明
プロセッサ ID	プロセッサの識別番号を示す。CMP プロセッサの場合は、コンマ区切りで各コアのプロセッサ ID が表示される。
CPU 状態	CPU の動作状態を示す。値は、online、offline、power off、no interrupts、またはunknown。 psradm -s コマンドを使用して CPU を spare に設定した場合、状態は「offline」になる。 CMT プロセッサでは、プロセッサの 1 つ以上のコアの状態が「online」または「no interrupts」の場合、CMT の状態は「online」になる。CMT の状態が「online」でない場合は、「offline」または「power off」になる。コアの状態が「P_BAD」、 「P_FAULTED」、 「P_SPARE」、または「P_OFFLINE」の場合、コアは「offline」と見なされる。
ユニット	SB0/P0 などの、FRU 名を示す。

CPU ユニットアラーム

CPU 状態の値が「power off」、
「offline」、または「unknown」の場合、注意アラームが発生します。(規則 rcr4u207)

CPU 状態の値が次のいずれかでない場合は、重大アラームが発生します

- online
- no interrupts
- power off
- offline
- unknown

(規則 rcr4u207)

電源装置属性

表 3-3 は、Sun Fire エントリーレベルミッドレンジシステムドメインの電源装置の属性を簡単にまとめています。

表 3-3 電源装置属性

属性	説明
名前	PS0 などの、電源装置の FRU 名を示す。
PSU 入力 A	A 入力、つまり下側の 2 つの PSU スロットの 1 つから給電される電源装置の状態を示す。
PSU 入力 B	B 入力、つまり上側の 2 つの PSU スロットの 1 つから給電される電源装置の状態を示す。
PSU 出力	電源装置の出力の状態を示す。
PSU 状態	電源装置の動作状態を示す。

電源装置アラーム

次の状況では、重大アラームが発生します。

- PSU 状態の値が「OK」または「Enabled」でない (規則 rcr4u203)
- PSU 状態の値が「OK」または「--」でない (規則 rcr4u998)
- 次の属性のいずれかの値が「OK」または「NA」でない
 - PSU 入力 A
 - PSU 入力 B
 - PSU 出力(規則 rcr4u227)

DIMM属性

表 3-4 は、Sun Fire エントリーレベルミッドレンジシステムドメインの DIMM (Dual Inline Memory Module) の属性を簡単にまとめています。各メモリモジュールについては、DIMM テーブルの個別の行で説明しています。

表 3-4 DIMM 属性

属性	説明
名前	SB0/P0/B0/D0 などの、DIMM の FRU 名を示す。
ボード参照番号	SB0/P0/B0/D0 などの、DIMM のボード参照番号を示す。
FRU	現場交換可能ユニットであるかどうかを示す。固定値は「yes」。
サイズ	メガバイト (MB) 単位で DIMM のサイズを示す。
スロット	SB2/P0/B0/D0 などの、DIMM のスロットの FRU 名を示す。
タイプ	メモリの種類を示す。固定値は「dimm」。
メモリ状態	「OK」などの、DIMM の動作状態を示す。

DIMM アラーム

メモリ状態の値が「disabled」または「blacklist」の場合、注意アラームが発生します。

メモリ状態の値が次のいずれかの値でない場合は、重大アラームが発生します

- OK
- --
- disabled
- blacklist

(規則 rcr4u999)

ファン属性

表 3-5 は、Sun Fire エントリレベルミッドレンジシステムドメインのファンの属性を簡単にまとめています。

表 3-5 ファン属性

属性	説明
名前	FT0/FAN0 などの、一意のファンの FRU 名を示す。
ファン状態	「OK」などの、現在のファンの動作状態を示す。

ファンアラーム

ファン状態の値が「OK」以外の場合、重大アラームが発生します (規則 rcr4u204)。

入出力デバイス属性

表 3-6 は、Sun Fire エントリレベルミッドレンジシステムのドメインの入出力デバイスの属性を簡単にまとめています。

表 3-6 入出力デバイス属性

属性	説明
名前	PCI0 などの、このユニットのシステム名を示す。
デバイスタイプ	pci などの、デバイスタイプを示す。
ディスク数	このユニットに接続されているディスク数を示す。
インスタンス番号	Sun Fire エントリレベルミッドレンジシステムでは、このフィールドは該当しない。
モデル	Sun Fire エントリレベルミッドレンジシステムでは、このフィールドは該当しない。
ネットワーク数	このユニットに接続されているネットワークインタフェース数を示す。
Reg	Sun Fire エントリレベルミッドレンジシステムでは、このフィールドは該当しない。
テープ数	このユニットに接続されているテープ数を示す。

ディスクデバイス属性

表 3-7 は、Sun Fire エントリーレベルミッドレンジシステムのドメインの内部ディスクデバイスの属性を簡単にまとめています。

注 – レポートは、シャーシ内のディスクに限定されます。外部デバイスは監視されません。

表 3-7 ディスクドライブ属性

属性	説明
名前	DISK1 などの、ディスクの FRU 名を示す。
デバイスタイプ	dvd などの、デバイスタイプを示す。
ディスク名	/dev/rdisk/c0t0d0 などの、ディスク名を示す。
FRU	現場交換可能ユニットであるかどうかを示す。固定値は「yes」。
インスタンス番号	インスタンス番号を示す。
ディスクのターゲット	ディスクのターゲット番号を示す。

テープデバイス属性

表 3-8 は、Sun Fire エントリーレベルミッドレンジシステムドメインのテープデバイスの属性を簡単にまとめています。

注 – レポートは、シャーシ内のデバイスに限定されます。外部デバイスは監視されません。

表 3-8 テープデバイス属性

属性	説明
名前	TAPE0 などの、このユニットの FRU 名を示す。
デバイスタイプ	tape drive などの、デバイスの種類を示す。
FRU	現場交換可能ユニットであるかどうかを示す。固定値は「yes」。
インスタンス番号	インスタンス番号を示す。
モデル	テープドライブにはこのフィールドの情報がない。

表 3-8 テープデバイス属性 (続き)

属性	説明
テープ名	/dev/mt0 などの、テープ名を示す。
テープ状態	テープドライブにはこのフィールドの情報がない。
テープターゲット	テープのターゲット番号を示す。

テープデバイスアラーム

テープ状態の値が「OK」、「ok」、または「NA」以外の場合、重大アラームが発生します (規則 rcr4u225)。

ネットワークデバイス属性

表 3-9 は、Sun Fire エントリーレベルミッドレンジシステムドメインのネットワークデバイスの属性を簡単にまとめています。

表 3-9 ネットワークデバイス属性

属性	説明
名前	ce0 などの、このユニットのシステム名を示す。
デバイスタイプ	デバイスのタイプを示す。固定値は「Network」。
Ethernet アドレス	Ethernet アドレスを示す。
インターネットアドレス	インターネットアドレスを示す。
インタフェース名	ce0 などの、インタフェース名を示す。
記号名	記号名、またはネットワークホスト名を示す。

LOM 属性

表 3-10 は、Sun Fire エントリレベルミッドレンジシステムドメインの LOM (lights-out management) の属性を簡単にまとめています。

表 3-10 LOM 属性

属性	説明
名前	固定値: LOM。
製品 ID	製品識別名を示す。
シリアルエスケープ文字	# などの、シリアルエスケープ文字を示す。
バージョン	8.1 などの、LOM のバージョンを示す。

LOM イベント属性

表 3-11 は、Sun Fire エントリレベルミッドレンジシステムドメインの LOM イベントの属性を簡単にまとめています。最大 128 のイベントが記録され、イベントテキストにはタイマーイベントに対応する時間リファレンスが含まれます。このようなタイマーイベントは、イベントログにも記録されます。最新のイベントの名前は「EVNT000」になります。

表 3-11 LOM イベント属性

属性	説明
名前	EVNT000 などの、LOM イベントの名前を示す。
イベント	LOM イベントのタイムスタンプと説明。

LOM アラーム属性

表 3-12 は、Sun Fire エントリレベルミッドレンジシステムドメインの LOM アラームの属性を簡単にまとめています。

表 3-12 LOM アラーム属性

属性	説明
名前	ALARM1 などの、LOM アラームの名前を示す。
アラーム状態	on などの、アラームの状態を示す。

LOM アラーム

アラーム状態の値が「off」以外の場合、重大アラームが発生します (規則 rcr4u226)。

障害インジケータ属性

表 3-13 は、Sun Fire エントリレベルミッドレンジシステムドメインの障害インジケータの属性を簡単にまとめています。

表 3-13 障害インジケータ属性

属性	説明
名前	インジケータの名前を示す。固定値は「FAULT」。
障害インジケータ状態	off などの、障害インジケータの状態を示す。

障害インジケータアラーム

障害インジケータ状態の値が「off」または「NA」以外の場合、重大アラームが発生します (規則 rcr4u229)。

LED 属性

表 3-14 は、Sun Fire エントリレベルミッドレンジシステムドメインの LED の属性を簡単にまとめています。

表 3-14 LED 属性

属性	説明
名前	FT0/FAN0/fault などの、LED 名を示す。
LED ラベル	fault などの、LED ラベルを示す。
アラーム名	Sun Fire エントリレベルミッドレンジシステムでは、このフィールドは該当しない。
LED 状態	ON や OFF などの、LED 状態を示す。

温度監視属性

表 3-15 および表 3-16 は、Sun Fire エントリレベルミッドレンジシステムドメインの温度監視の属性を簡単にまとめています。

表 3-15 温度超過監視属性

属性	説明
温度超過監視	RPO/t_ambient0 などの、温度が監視されているノードの FRU 名を示す。
センサー名	t_ambient0 などの、センサーのラベル属性を示す。
温度超過監視状態	温度超過監視の状態を示す: OK、Warning、または Faulty。

表 3-16 温度監視属性

属性	説明
温度監視	RPO/t_ambient0 などの、温度が監視されているノードの FRU 名を示す。
センサー名	t_ambient0 などの、センサーのラベル属性を示す。
現在温度 (°C)	現在の温度を摂氏で示す。
警告温度 (°C)	警告状態となる温度の上限と下限を摂氏で示す。温度が下限を下回る (<0 など) か、上限を超える (>80 など) と、温度超過監視状態が Warning に変化する。
停止温度 (°C)	自動停止が行われる温度の上限と下限を摂氏で示す。温度が下限を下回る (<-12 など) か、上限を超える (>102 など) と、温度超過監視状態が Faulty に変換し、停止が実行される。

温度アラーム



注意 – 温度アラームは、他のアラームと同様に最大 5 分間の遅延があることに注意してください。

温度超過監視状態の値が「OK」以外の場合、重大アラームが発生します (規則 rcr4u230)。

電圧センサー属性

表 3-17 は、Sun Fire エントリーレベルミッドレンジシステムドメインの電圧センサーの属性を簡単にまとめています。

表 3-17 電圧センサー属性

属性	説明
ノード名	RP0/v_1.5vdc0 などの、電圧センサーのノードの FRU 名を示す。
センサー名	v_1.5vdc0 などの、電圧センサーの FRU 名を示す。
電圧センサー状態	電圧センサーの状態を示す。電圧属性の値が停止しきい値よりも高いか低い場合、状態は Faulty になる。電圧属性の値が停止しきい値の上限または下限と、それに対応する警告しきい値の間にある場合、状態は Warning になる。それ以外の場合、状態は OK になる。
停止有効	停止が有効かどうかを示す。固定値は「yes」。

電圧センサーアラーム

電圧センサー状態の値が「OK」以外の場合、重大アラームが発生します。(規則 rcr4u232)

FRUID 情報

表 3-18 は、Sun Fire エントリーレベルミッドレンジシステムドメインの FRUID (現場交換可能ユニット ID) の属性を簡単にまとめています。

表 3-18 FRUID 情報

属性	説明
名前	SB0/P0/B0/D0 などの、FRU 名を示す。
FRU 説明	CPU Board (1280) などの、FRU の説明を示す。
FRU 短縮名	DIMM などの、FRU の短縮名を示す。
HW ダッシュレベル	初期ハードウェアダッシュレベルを 2 桁の整数で示す。
製造元所在地	Toronto などの、製造元の地理的な所在地を示す。
FRUID パス	SB4/P1/B0/D2 などの、FRUID パスを示す。
Sun 部品番号	5015401 などの、Sun の部品番号を示す。
Sun シリアル番号	a10235 などの、Sun のシリアル番号を示す。

表 3-18 FRUID 情報 (続き)

属性	説明
タイムスタンプ	システム情報が抽出された時刻のタイムスタンプ値を示す。
ベンダー名	Samsung などの、ベンダー名を示す。
COD 有効	COD ボードが有効かどうかを示す (True または False)。COD ボード以外の FRU では、False と表示される。

FRU 状態アラーム

FRU 状態の値が次の場合、注意アラームが発生します。

- unknown
- disabled
- failing

FRU 状態の値が次のいずれかの値でない場合は、重大アラームが発生します

- OK
- --
- unknown
- disabled
- failing

(規則 rcr4u997)

ドメインの物理表示と論理表示

「詳細」ウィンドウの「ハードウェア」タブでは、Sun Fire エントリレベルミッドレンジシステムのハードウェア構成を物理表示および論理表示することができます。

図 3-5 に、システムの正面からの物理的外観を示します。「ハードウェア」タブをクリックし、「表示」リストボックスの「物理表示」の下の「システム」をクリックすると、表示されます。「視点の変更」リストボックスの「システム-正面」が選択されています。

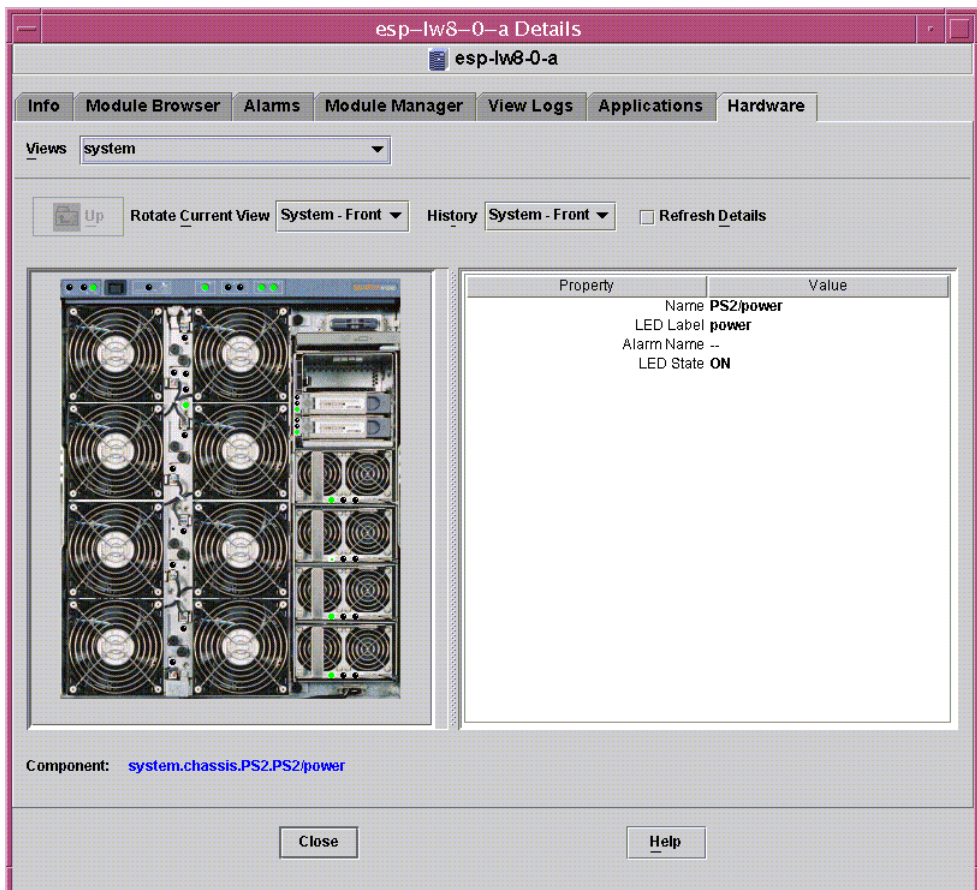


図 3-5 システムの正面からの物理表示

注 - 「物理表示」にはポートおよび入出力アダプタの画像が表示されますが、ポートおよび入出力アダプタに接続されたデバイスは表示されません。同様に、「物理表示」のPCIカードの画像は見本であり、使用中の構成のPCIスロットの実際の外観を示しているわけではありません。

付録 A

CLI による Sun Management Center ソフトウェアのインストールとセッ トアップ、アンインストール、起 動、停止

この付録では、CLI から Sun Management Center ソフトウェアをインストール、セットアップ、アンインストール、起動、停止する方法を説明します。詳細は、『Sun Management Center インストールと構成ガイド』を参照してください。インストール GUI を使用してインストールする場合は、第 2 章を参照してください。

CLI によるソフトウェアのインストール とセットアップ

まず、システムに Sun Management Center 3.5 ベースソフトウェアの最新アップデートがインストールされていることを確認します。Sun Management Center 3.5 ソフトウェアのインストールについては、『Sun Management Center インストールと構成ガイド』を参照してください。

また、システムには、必要なパッチがすべてインストールされている必要があります。

サーバー、ドメイン、およびコンソール階層のソフトウェア要件については、『Sun Management Center 3.5 バージョン 6 Sun Fire エントリーレベルミッドレンジシステムご使用にあたって』を参照してください。

▼ CLI を使用してアドオンソフトウェアをインストールする

1. スーパーユーザで、*path*/sbin ディレクトリへ移動します。*path*/sbin は、Sun Management Center ベースソフトウェアがインストールされている場所です。
2. アドオンソフトウェアをインストールするには、sbin ディレクトリの `es-inst` コマンドを実行します。
`es-inst` スクリプトからソースディレクトリの入力が必要です。
3. Sun Management Center 3.5 バージョン 6 アドオンソフトウェアのイメージのソースディレクトリを入力します。
`es-inst` コマンドとそのオプションについての詳細は、『Sun Management Center インストールと構成ガイド』を参照してください。



注意 – ベース Sun Management Center 3.5 ソフトウェアパッケージがインストール済みで、Sun Fire 補助ソフトウェアだけインストールする場合は、セットアップの開始を促すメッセージが表示されたときに **n** (いいえ) を入力してください。**y** (はい) を入力すると、セキュリティーキーなどの、カスタマイズした設定情報が失われることがあります。

注 – Sun Management Center 3.5 ソフトウェアパッケージをフルインストールする場合は、インストール手順の最後でセットアップスクリプトを使用できます。そのとき、セットアップスクリプトを実行しないで、後で実行することもできます。セットアップスクリプト (`es-setup`) は *path*/sbin ディレクトリ内にあります。*path* は Sun Management Center がインストールされているディレクトリです。セットアップスクリプトによる設定では、プラットフォームエージェントをはじめとする、Sun Management Center のすべてのエージェントが設定されます。

4. アドオンソフトウェアをサーバー、および監視対象のすべての Sun Fire エントリレベルミッドレンジエージェントシステムにインストールします。
上記手順 1 の注意と注を参照してください。

以下のメッセージが表示されます。

```
-----  
Sun Management Center Product Selection  
-----  
-----  
The following Add-On Products are applicable for installation:  
Sun Fire Entry-Level Midrange System  
  
Select the products you want to install:  
Sun Fire Entry-Level Midrange System (y|n|q) y  
-----
```

5. インストールする製品ごとに **y** と入力します。

すべてのアドオンソフトウェアに対して **y** と入力した場合は、次のメッセージが表示されます。

```
-----  
The following Add-On Products will be installed:  
Sun Fire Entry-Level Midrange System  
  
Do you want to proceed?[y|n|q] y  
-----
```

6. **y** と入力して、アドオン製品のインストールに進みます。

▼ アドオンソフトウェアをセットアップする

- スーパーユーザで以下を入力します。

```
# ./es-setup -p lw8
```

サーバーでソフトウェアをセットアップする場合は、次のようなメッセージが表示されます。

```
-----  
This script will help you to setup Sun (TM) Management Center 3.5.  
-----
```

```
Setting up Addon[s]...
```

```
-----  
Starting Sun Management Center Sun Fire Entry-Level Midrange  
System Setup  
-----
```

```
Do you want to start Sun Management Center agent and server  
components now (y|n|  
q) y
```

```
Java server started successfully.  
Grouping service started successfully.  
Agent started successfully.  
Topology service started successfully.  
Trap-handler service started successfully.  
Configuration service started successfully.  
Event-handler service started successfully.  
Metadata Service started successfully.
```

```
Web server started successfully.
```

```
Setup of Sun Management Center is complete.  
Setup logfile is :  
/var/opt/SUNWsymon/install/setup_ssdn2363.050427170031.14144
```

エージェントでソフトウェアをセットアップする場合は、次のようなメッセージが表示されます。


```
-----  
This script will help you to setup Sun (TM) Management Center 3.5 Update 1.  
-----  
Sep 10 09:49:04 qalw8-2 platform[12429]: [ID 305329 daemon.alert] syslog Sep  
10 09:49:04 platform {received software termination signal}  
Sep 10 09:49:04 qalw8-2 platform[12429]: [ID 770054 daemon.alert] syslog Sep  
10 09:49:04 platform *** terminating execution ***  
Stopping platform component  
Stopping agent component  
Sep 10 09:49:05 qalw8-2 agent[11616]: [ID 313994 daemon.alert] syslog Sep 10  
09:49:05 agent {received software termination signal}  
Sep 10 09:49:05 qalw8-2 agent[11616]: [ID 638892 daemon.alert] syslog Sep 10  
09:49:05 agent *** terminating execution ***  
  
Setting up Addon[s]...  
-----  
Starting Sun Management Center Sun Fire Entry-Level Midrange System Setup  
-----  
--> Platform Found: Sun Fire E2900  
--> Sun Fire Entry-Level Midrange System add-on Agent package found! <---  
Entry for Config-Readerlw8 successfully added  
  
Do you want to start Sun Management Center agent now (y|n|q) y  
Starting Sun Management Center Agent...  
  
Agent started successfully.  
  
Setup of Sun Management Center is complete.  
Setup logfile is : /var/opt/SUNWsymon/install/setup_qalw8-2.040910094859.18052  
#
```

CLIによるソフトウェアのアンインストール

CLIを使用して以下をアンインストールすることができます。

- Sun Management Center ソフトウェア全体 (42 ページの「Sun Management Center ソフトウェア全体をアンインストールする」を参照)

- Sun Fire エントリーレベルミッドレンジシステム用のアドオンソフトウェア (43 ページの「Sun Fire エントリーレベルミッドレンジシステム用アドオンソフトウェアをアンインストールする」を参照)

▼ Sun Management Center ソフトウェア全体をアンインストールする

1. スーパーユーザで以下を入力します。

```
# ./es-uninst
```

以下のメッセージが表示されます。:

```
This script will help you to uninstall the Sun Management Center software.
Following Sun Management Center Products are installed:
-----
PRODUCT                                DEPENDENT PRODUCTS
-----
Production Environment                    All Addons
Sun Fire Entry-Level Midrange System      None

Do you want to uninstall Production Environment?[y|n|q]
```

2. 本稼働環境をアンインストールしてもよい場合は `y` を入力します。これで、Sun Management Center ソフトウェア全体がアンインストールされます。

以下のメッセージが表示されます。

```
This will uninstall ALL Sun Management Center Products. !!!

Do you want to change selection?[y|n|q]
```

3. 以下のいずれかの操作をします。

- 選択内容を変更する場合は、`y` と入力します。
選択内容が表示され、手順 2 の先頭に戻ります。

- 選択内容を変更しない場合は、n と入力します。
以下のメッセージが表示されます。

```
Do you want to preserve database?[y|n|q]
```

注 - **y** (yes) と応答すると、開および閉状態のアラーム、読み込み済みのモジュールとその設定、検出情報、管理対象オブジェクト、規則しきい値などの、データベース内のあらゆるデータが保持されます。

4. 以下のいずれかの操作をします。

- 既存のトポロジとイベントデータを保存する場合は、y と入力します。
 - データを破棄する場合は、n と入力します。
- 以下のメッセージが表示されます。

```
Proceed with uninstall?[y|n|q]
```

5. 以下のいずれかの操作をします。

- アンインストールを続行する場合は、y を入力します。
- アンインストールを中止する場合は、n を入力します。

y を入力した場合は、アンインストールするパッケージの一覧が表示され、アンインストールされたパッケージ、アンインストール状況、ログファイルの場所が表示されます。

▼ Sun Fire エントリーレベルミッドレンジシステム用 アドオンソフトウェアをアンインストールする

1. スーパーユーザで以下を入力します。

```
# ./es-uninst
```

以下のメッセージが表示されます。:

```
This script will help you to uninstall the Sun Management Center software.
Following Sun Management Center Products are installed:
-----
PRODUCT                                DEPENDENT PRODUCTS
-----
Production Environment                  All Addons
Sun Fire Entry-Level Midrange System    None

Do you want to uninstall Production Environment?[y|n|q]
```

2. 本稼働環境をアンインストールしない場合は、n と入力します。

以下のメッセージが表示されます。

```
Do you want to uninstall Sun Fire Entry-Level Midrange System?[y|n|q]
```

3. モジュールをアンインストールする場合は y、アンインストールしない場合は n と入力します。

アンインストールされるモジュールと以下のメッセージが表示されます。

```
Do you want to change selection?[y|n|q]
```

4. 以下のいずれかの操作をします。

- 選択内容を変更する場合は、y を入力します。
選択内容が表示され、手順 2 の先頭に戻ります。
- 選択内容を変更しない場合は、n を入力します。
以下のメッセージが表示されます。

```
Proceed with uninstall?[y|n|q]
```

5. 以下のいずれかの操作をします。

- アンインストールを続行する場合は、y を入力します。

- アンインストールを中止する場合は、n を入力します。

y を入力した場合は、アンインストールするパッケージの一覧が表示され、アンインストールされたパッケージ、アンインストール状況、ログファイルの場所が表示されます。

CLI による Sun Management Center ソフトウェアの起動と停止

▼ すべての Sun Management Center コンポーネントを起動する

es-start コマンドに指定する引数は、起動するコンポーネントによって異なります。『Sun Management Center インストールと構成ガイド』の es-start のオプション一覧を参照してください。この一覧は、es-start の -h オプションを使って表示することもできます。よく使われる es-start のオプションを、以下の手順に示します。

1. *path*/sbin ディレクトリに移動します。*path*は、Sun Management Center ソフトウェアがインストールされているディレクトリです。
2. スーパーユーザで次のコマンドを入力すると、コンソール以外のすべての Sun Management Center コンポーネントが起動します。

```
# ./es-start -A
```

▼ すべての Sun Management Center コンポーネントを停止する

es-stop コマンドに指定する引数は、停止するコンポーネントによって異なります。『Sun Management Center インストールと構成ガイド』の es-stop のオプション一覧を参照してください。この一覧は、es-stop の -h オプションを使って表示することもできます。よく使われる es-stop のオプションを、以下の手順に示します。

1. *path*/sbin ディレクトリに移動します。*path*は、Sun Management Center ソフトウェアがインストールされているディレクトリです。

2. スーパーユーザで次のコマンドを入力すると、コンソール以外のすべての Sun Management Center コンポーネントが停止します。

```
# ./es-stop -A
```

用語集

- COD** Capacity on Demand オプションのことです。
- DIMM** Dual Inline Memory Module の略語です。
- D キャッシュ** データキャッシュのことです。
- E キャッシュ** 外部キャッシュのことです。
- FRU** Field-Replaceable Unit (現場交換可能ユニット) の略語です。
- I キャッシュ** 命令キャッシュのことです。
- LOM** Lights Out Management の略語です。
- PCI** Peripheral Component Interconnect の略語です。
- RP0、RP2** リピータボードのことです。
- SB0、SB2、SB4** CPU/メモリボード、またはシステムボードのことです。
- W キャッシュ** 書き込みキャッシュのことです。
- 開く** アイコンの階層の下に隠れている下位項目を展開して表示させることです。

